



岩手労働局発表
令和3年8月10日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 八重樫 祐一
課長補佐 瀧 磯 寿
(電話) 019-604-3007

令和3年1月～7月分（速報値）の 労働災害発生状況を公表します

～墜落による死亡災害が半数近くを占めています～

岩手労働局（局長 いなはら としひろ 稲原 俊浩）は、令和3年1月～7月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）及び死亡者数の状況を取りまとめました。

令和3年1月～7月（7月末現在の速報値）の死傷者数は764人となり、前年同期比で89人（13.2%）の増加、死亡者数は11人となり、前年同期と比べ5人の増加となっています。

（業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。）

令和3年（1月～7月）の労働災害発生状況（令和3年7月末現在 速報値）

1 死傷災害（休業4日以上）【表1】（P.3）、【グラフ1】、【グラフ2】（P.6）、
【参考3】（P.9）

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は764人で、前年同期比で89人（13.2%）増加しました。

（2）業種別の状況[大分類]

① 前年同期比で増加数の多い順に、「運輸交通業」78人（前年同期比+25人、+47.2%）、「製造業」176人（同+19人、+12.1%）、「保健衛生業」78人（同+9人、+13.0%）、次いで「建設業」124人（同+7人、+6.0%）、「商業」101人（同+7人、+7.4%）、「接客娯楽業」37人（同+7人、+23.3%）が同数の増加となっています。

② 前年同期比で減少数の多い順に、「農林業」27人（前年同期比-7人、-20.6%）、「畜産水産業」35人（同-5人、-12.5%）、となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、267人（34.9%）となっています。次いで、「墜落・転落」106人（13.9%）、「はさまれ・巻き込まれ」82人（10.7%）、「動作の反動・無理な動作」77人（10.1%）、「切れ・こすれ」と「交通事故（道路）」が同数で44人（5.8%）、以下、「激突」42人（5.5%）、「激突され」38人（5.0%）、「飛来・落下」31人（4.1%）となっています。

2 死亡災害【表2】、【表3】（P.4、5）

（1）全業種合計

全業種合計の死亡者数は11人で、前年同期（7月末日までに報告のあった件数）と比べ5人の増加となっており、業種は「建設業」で5人、「農林業」で3人、「製造業」、「鉱業」、「接客娯楽業」、で各1人となっています。

（2）死亡労働災害の増加について

県内の死亡労働災害は、7月末日現在、前年同期比で5人の増加となり、増加要因の多くを墜落・転落が占めています。災害発生原因をみると、保護帽を使用していなかったもの、墜落制止用器具（安全帯）を使用していなかったもの、作業手順が具体的に定められていなかったものなど、基本的な対策が不十分であったことが原因となっています。

労働安全衛生法では、高さが2メートル以上の箇所で作業を行う場合は、足場を組み立て、作業床を設けるとともに、作業床の端や開口部には手すりや囲いを設けなければなりません。また、作業床が設けられない場合は、墜落制止用器具を使用させ、墜落による危険防止措置を講じることとされており、岩手労働局及び労働基準監督署では、監督指導や安全パトロールを通して、引き続き、保護帽の確実な着用とともに、それらの対策の徹底を図ってまいります。

【表1】

令和3年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和3年1月～7月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	令和3年	令和2年										
製造業	食料品	12 (2)	15 (5)	-3	-20.0%		1	7 (2)		2		
	水産食料品	57 (22)	48 (17)	9	18.8%	29 (9)	1 (1)		11 (6)	5 (1)	2	
	上記以外の食料品	7 (2)	1	6	600.0%	2 (1)		2 (1)	1	1	10 (4)	
	繊維・衣服その他繊維製品	19 (4)	22 (5)	-3	-13.6%	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	1	3 (1)	4 (1)
	木材・木製品、家具・装備品	5 (1)	6 (2)	-1	-16.7%	2			1	2 (1)		
	パルプ・紙、印刷・製本	9 (1)	11 (4)	-2	-18.2%	3 (1)	3		3			
	化学工業	15 (2)	1 (1)	14	1400.0%	4 (1)		1 (1)	5	2		3
	窯業土石	10 (1)	7 (1)	3	42.9%	4 (1)			5	1		
	鉄鋼業、非鉄金属	12 (4)	12 (1)	0	0.0%	4 (3)		2	4 (1)	2		
	金属製品	13 (5)	8 (3)	5	62.5%	3 (1)	1 (1)	4 (3)	4	1		
	一般機械器具	7 (2)	7 (1)	0	0.0%	1	1	1	4 (2)			
	電気機械器具	5 (3)	8 (2)	-3	-37.5%				4 (3)			1
	輸送用機械製造	1 (1)		1		1 (1)						
	電気・ガス	4 (2)	11 (4)	-7	-63.6%	1 (1)	1	1	1 (1)			
	その他の製造	176 (52)	157 (46)	19	12.1%	57 (19)	11 (3)	21 (7)	46 (14)	14 (2)	6 (2)	21 (5)
小計	7 (2)	3	4	133.3%	2 (1)	1		4 (1)				
建設業	土木工事	46 (9)	40 (5)	6	15.0%	9 (4)	5	2	11	4	10 (3)	
	鉄骨・鉄筋家屋	13 (2)	11 (2)	2	18.2%	2 (1)	3 (1)	3	1		2	
	木造家屋	26 (3)	27 (3)	-1	-3.7%	7 (1)	1	3	7 (1)		6	
	その他の建築工事	27 (4)	26 (2)	1	3.8%	10 (1)	2	1	6	3 (1)	2 (1)	
	その他の建設	12 (3)	13 (1)	-1	-7.7%	4 (1)		1	5 (1)	1		
	小計	124 (21)	117 (13)	7	6.0%	32 (8)	11 (1)	10	30 (2)	8 (1)	20 (4)	
	道路貨物運送業	62 (16)	43 (8)	19	44.2%	20 (5)	2 (1)	1 (1)	28 (6)	2 (1)	1 (1)	8 (1)
	その他の運輸交通業	16 (10)	10 (3)	6	60.0%	9 (5)		1 (1)	3 (2)	1	2 (2)	
	貨物取扱	1 (1)		1		1 (1)						
	農業	6 (1)	6 (1)	0	0.0%	2			1	2		1 (1)
商業	林業	21 (3)	28 (1)	-7	-25.0%	5	4 (2)	1		2	3	
	畜産業	31 (6)	38 (4)	-7	-18.4%	13 (1)	1		5 (3)	6 (2)	6	
	水産業	4	2 (1)	2	100.0%	1					1	
	小売業	83 (49)	76 (30)	7	9.2%	37 (21)	5 (3)	5 (2)	20 (11)	10 (7)	2 (2)	4 (3)
	その他の商業	18 (8)	18 (4)	0	0.0%	8 (3)		1	6 (3)	2 (1)	1 (1)	
	小計	14 (5)	8 (3)	6	75.0%	9 (5)	2		1	2		
	社会福祉施設	61 (27)	63 (30)	-2	-3.2%	24 (11)	3 (1)	2 (1)	15 (6)	5 (3)	6 (2)	6 (3)
	その他の保健衛生業	17 (8)	6 (3)	11	183.3%	13 (5)	1		2 (2)	1 (1)		
	旅館業	9 (6)	4 (3)	5	125.0%	5 (2)			2 (2)	2 (2)		
	飲食店	15 (3)	13 (6)	2	15.4%	7 (1)		3 (1)	3	2 (1)		
その他の接客娯楽業	13 (6)	13 (3)	0	0.0%	7 (4)			1	1 (1)	2 (1)		
ピルメントナンス業	23 (13)	19 (6)	4	21.1%	11 (6)	2 (1)		8 (4)	1 (1)	1 (1)		
その他(上記以外の全ての業種)	63 (30)	51 (13)	12	23.5%	22 (16)	1	4 (2)	25 (9)	2 (1)	3 (1)	6 (1)	
合計	764 (267)	675 (178)	89	13.2%	285 (114)	53 (10)	47 (14)	150 (39)	60 (12)	43 (18)	78 (19)	
前年同期					237 (69)	2	2	52	3	-7	0	
増減数					48	-9	4	34.7%	5.0%	-14.0%	0.0%	
増減率					20.3%	-17.0%	4.3%	34.7%	5.0%	-14.0%	0.0%	

(注) 令和3年7月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

()内は転倒災害者数(内数)です。

【表2】

令和3年 死亡災害発生状況（7月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	花巻	接客娯楽業 (その他)	1月	水	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	14時頃から屋根上で除雪作業を行っていた男性従業員2名が、14時20分頃、約6m下の地面へ墜落し、うち1名が死亡したものの。
2	宮古	農林業 (その他の林業)	1月	木	男	70歳代 (1年以上 10年未満)	転倒	通路	事業主と被災労働者の2人で薪木をトラックに積載し、事業主が薪木をトラックで近所に搬出し、現場へ戻ってきたところ、被災者が倒れているのを発見したものの。
3	大船渡	建設業 (道路建設工事)	2月	月	男	70歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、 転落	開口部	市道整備工事のための工事看板設置の作業をしていた被災労働者が、約3メートル下の地面に墜落し、頭を強く打ち、病院搬送後に死亡したものの。
4	二戸	建設業 (トンネル建設工事)	3月	水	男	70歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	労働者3人でワゴン車に乗り合わせて現場に向かう途中、カーブで凍結路面にハンドルを取られ対向車線にはみ出したところ、対向車(トラック)と衝突し、運転していた被災者が死亡したものの。
5	花巻	鉱業 (採石業)	4月	土	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	通路	砕石プラントにおいて、設備の駆動部分に注油する作業を行ったのち、当該設備から操作盤へ続く通路へ戻る際に、通路の端部より、高さ約5.6メートル下の地面に墜落したものの。
6	盛岡	建設業 (砂防工事)	4月	火	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	掘削用機械	災害発生の翌日、斜面の下でドラグ・ショベルの下敷きとなった被災者が発見されたものの。 被災者がドラグ・ショベルを運転していたところ、路肩が崩れたことによりドラグ・ショベルとともに転落し、約60メートル斜面を転落した後、運転席から投げ出されドラグ・ショベルの下敷きになったと推定されるもの。
7	大船渡	農林業 (木材伐出業)	4月	火	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	立木等	杉の皆伐現場で、伐倒木が伐倒済みの木に当たり、その伐倒済みの木が滑落して被災者に激突したものの。
8	盛岡	製造業 (その他の鉄鋼業)	5月	木	男	70歳代 (1年以上 10年未満)	高温・低温 の物との接触	ガス溶接装置	ガス溶断装置を使用し、ロール状の鉄の溶断作業をしていた被災者の作業服に火が燃え移り全身をやけどしたものの。
9	二戸	農林業 (木材伐出業)	6月	水	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	激突され	立木等	被災労働者がチェーンソーによる栗の木の伐木作業をしていたところ、被災労働者の後方にて立ち枯れしていた栗の木が被災労働者へ倒れこみ、被災労働者が栗の木とチェーンソーに挟まれたものの。
10	盛岡	建設業 (その他の建築工事)	6月	土	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、転落	足場	住宅の屋根及び外壁塗装工事現場で、外壁の塗装作業に従事していた被災者が地面に倒れているのが発見されたものの。
11	宮古	建設業 (その他の土木工事)	7月	土	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	移動式クレーン	民家敷地にコンクリート製擁壁を設置する工事現場において、移動式クレーンを搭載したトラックが、荷の積載作業が終了した後、傾斜した道路を無人で後退して道路脇のガードレール等に衝突し、巻き込まれた被災者が発見されたものの。

【表3】

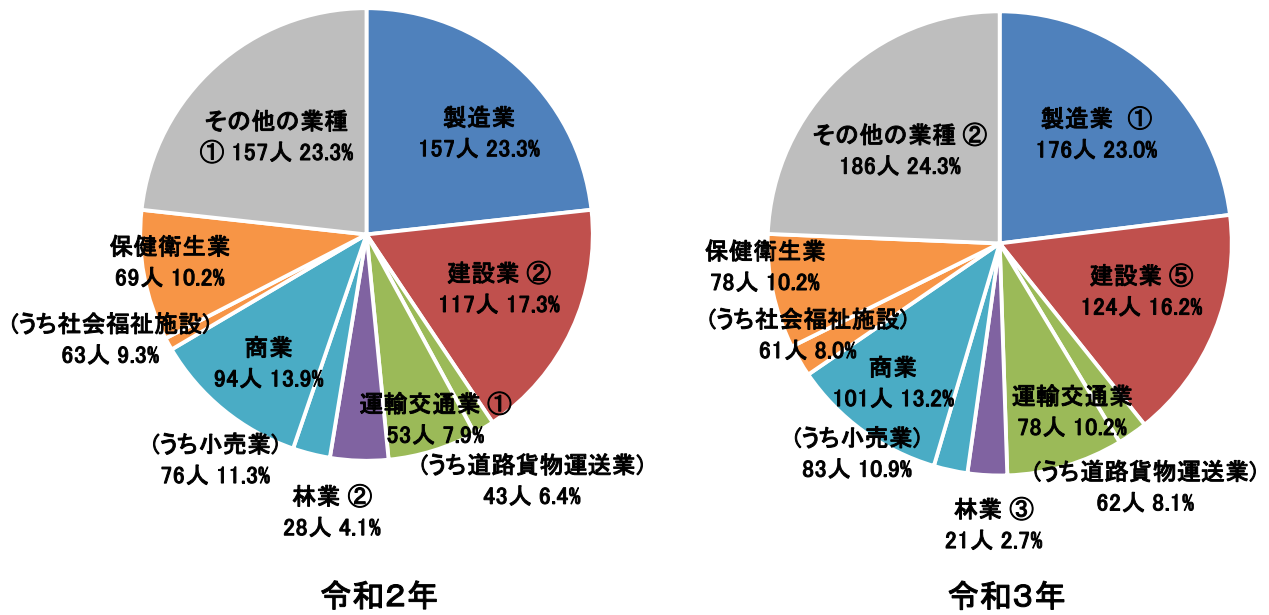
令和3年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

（7月末日現在）

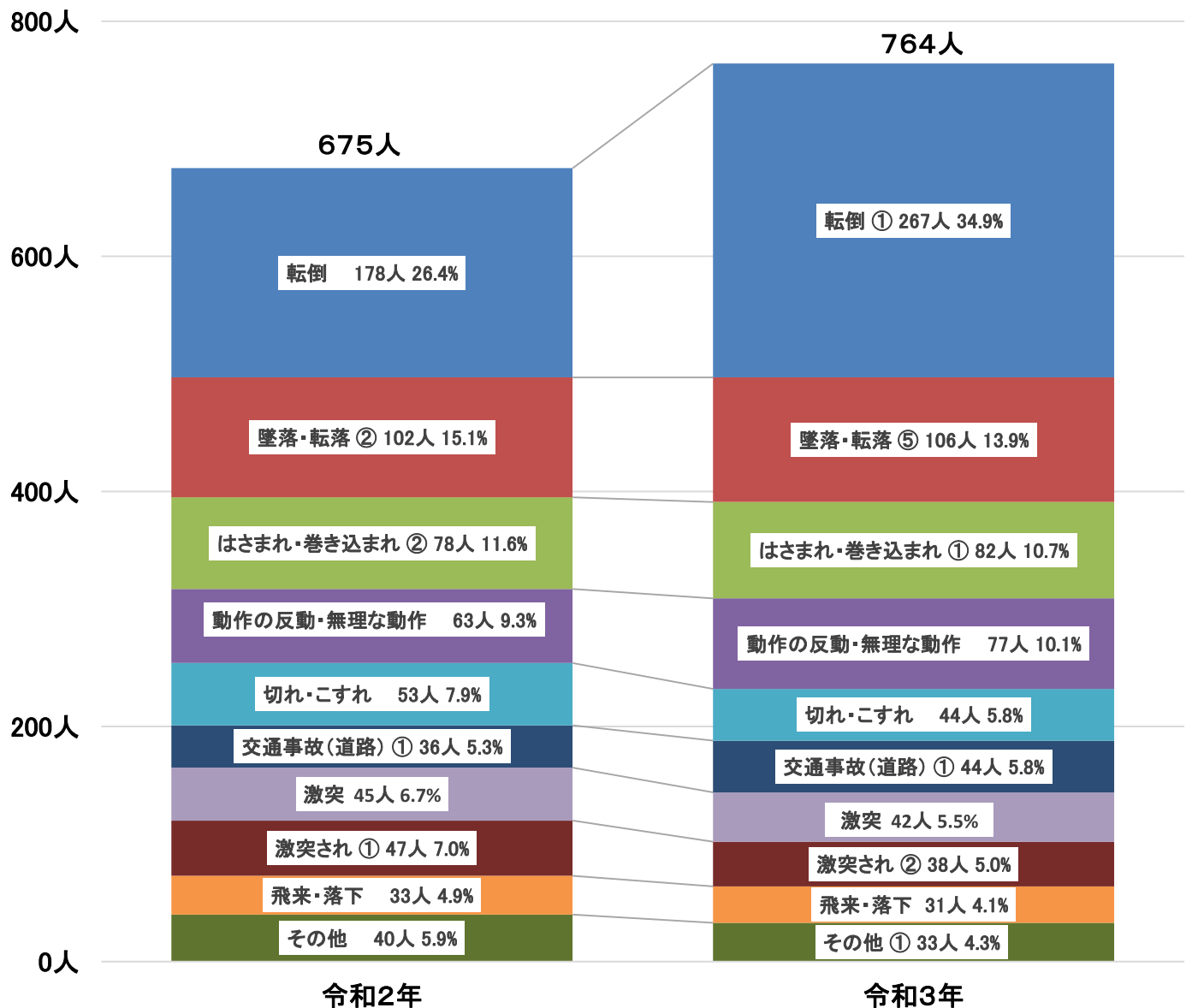
業種別	製造業 1人 (0人)	鉱業 1人 (0人)	建設業 5人 (2人)	運輸交通業 0人 (1人)	林業 3人 (2人)	商業 0人 (0人)	左記以外 1人 (1人)	11人 (前年同期6人)
監督署別	盛岡 3人 (2人)	宮古 2人 (2人)	釜石 0人 (1人)	花巻 2人 (1人)	一関 0人 (0人)	大船渡 2人 (0人)	二戸 2人 (0人)	
事故の型別	墜落・転落 5人 (2人)	転倒 1人 (0人)	飛来・落下 0人 (0人)	崩壊・倒壊 0人 (0人)	激突され 2人 (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ 1人 (2人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
	破裂 0人 (0人)	高温の物との 接触 1人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との 接触 0人 (0人)	交通事故 1人 (1人)	その他 0人 (0人)	

注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和2年・令和3年(7月) 業種別労働災害発生状況[令和3年7月末]



【グラフ2】 令和2年・令和3年(7月) 事故の型別労働災害発生状況[7月末]



○内は死亡者数(内数)です。

【参考2】令和3年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和3年1月～7月

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況													
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
製造業	食料品	12 (2)	2	1	1	5 (1)	3	2	2 (1)	1	1	8 (4)	7 (6)	3 (1)	
	水産食料品	57 (22)	6	1	1	5 (1)	3	7 (2)	5 (4)	9 (5)	8 (4)	7 (6)	1		
	上記以外の食料品	7 (2)							1 (1)	1	5 (1)				
	繊維・衣服その他繊維製品	19 (4)				1	2	3	4 (2)	1	4		2 (1)		
	木材・木製品、家具・装備品	5 (1)		1	1	1	1	1	1 (1)						
	パルプ・紙、印刷・製本	9 (1)		1	1	2	1		1 (1)						
	化学工業	15 (2)	1	3	1	1	3 (1)	3 (1)	2	2	1	1		1	
	窯業土石	10 (1)	1				3		1	1 (1)	1	1	1	1 (1)	
	鉄鋼業、非鉄金属	12 (4)				1 (1)	2 (1)	1	1	2	3 (2)	1			
	金属製品	13 (6)	1 (1)	1 (1)	1	1	4 (1)	1	2 (2)	1	2				
建設業	一般機械器具	7 (2)	1	1	1	2 (2)	1 (1)	1	3 (1)	1	1 (1)				
	電気機械器具	5 (3)	1	1	1		1	1 (1)	1 (1)						
	輸送用機械製造	1 (1)													
	電気・ガス	4 (2)				1	1	1	1 (1)						
	その他の製造	176 (52)	2	12 (1)	9	10 (2)	14 (3)	24 (4)	24 (13)	18 (8)	27 (9)	12 (6)	8 (2)	2 (1)	
	小計	7 (2)						1	1	3 (2)	1		1		
	土木工事	46 (9)	2	1 (1)	1	1	5 (1)	5	5 (1)	5	7 (2)	7 (2)	4 (1)	2	
	鉄骨・鉄筋家屋	13 (2)		1	1		2			2	2	3 (1)	2 (1)		
	木造家屋	26 (3)	4 (1)	2	2		2 (1)	2	1	2 (1)	5	5	2		
	その他の建築工事	27 (4)	2	1	1	5 (2)	4 (1)	4	2	2 (1)	2 (1)	1	3		
その他の建設	12 (3)				2 (1)	2 (1)	2	1 (1)	1	2	1				
小計	124 (21)	8 (1)	5 (1)	5 (1)	12 (1)	16 (3)	12 (2)	9 (1)	11	15 (4)	17 (3)	14 (2)	4		
運輸	62 (16)	1	1	1	2	4 (1)	6 (3)	12 (2)	10 (3)	4	4	1 (1)	1		
道路貨物運送業	16 (10)	1	1	1	1	1 (1)	1 (1)	3 (3)	2		3 (3)	3 (2)			
その他の運輸交通業	1 (1)	1 (1)													
貨物取扱	6 (1)	1	1	1											
農業	21 (3)														
林業	31 (6)	1	1	1	1	4	3	4	5 (1)	4 (2)	5 (2)	1 (1)			
畜産業	4														
水産業	83 (49)	1	4 (2)	6 (2)	5 (2)	8 (1)	1 (1)	6 (3)	6 (4)	17 (10)	14 (13)	6 (4)	8 (6)		
小売業	18 (8)			2 (2)	3 (1)	3 (1)	3	3 (3)	4 (1)	1 (1)	1				
その他の商業	14 (5)	1	1	1	1	4 (4)	1	1 (1)	4	1					
通信業	61 (27)	2	2	1	1	8 (4)	6 (2)	12 (6)	10 (4)	15 (9)	3 (1)	3 (2)			
保健衛生業	17 (8)			4	3 (1)	2 (1)	1	1	1 (1)	3 (3)	2 (2)				
旅館業	9 (6)	1 (1)	1 (1)	1	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2				
飲食店	15 (3)		1	1	3	1	1	2	4 (1)	2 (2)					
その他の接客娯楽業	13 (6)	2 (1)	1	1	2	1	1	1 (1)	1 (1)	3 (3)	1				
ビルメンテナンス業	23 (13)	3 (1)	3 (1)	5	3 (2)	7 (3)	3	11 (7)	12 (6)	5 (4)	10 (6)	3 (1)	2 (2)		
その他の(上記以外の全ての業種)	63 (30)	38 (8)	39 (5)	39 (5)	39 (10)	61 (18)	59 (15)	79 (19)	101 (42)	99 (51)	72 (32)	48 (17)	14 (6)		
合計	764 (267)	4	38 (8)	39 (5)	39 (10)	61 (18)	59 (15)	79 (19)	101 (42)	99 (51)	72 (32)	48 (17)	14 (6)		

(注) 令和3年7月末の速報値です。
 ()内は転倒災害者数(内数)です。
 ○内は死亡者数(内数)です。

【参考3】

令和3年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

(令和3年7月末速報値)

	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	12	52	12	5	2	6	43	16	0	0	7	3	0	0	0	0	2	0	15	1	0	176
建設業	44	21	7	8	2	5	9	11	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	8	1	0	124
道路貨物運送業	18	16	4	3	0	3	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0	0	62
林業	1	3	0	5	1	7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	21
小売業	3	49	4	1	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	10	0	0	83
社会福祉施設	3	27	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	17	5	0	61
全産業	106	267	42	31	7	38	82	44	0	0	10	5	0	0	0	0	44	0	77	11	0	764
	13.9%	34.9%	5.5%	4.1%	0.9%	5.0%	10.7%	5.8%	0.0%	0.0%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	0.0%	10.1%	1.4%	0.0%	100.0%

(令和2年7月末速報値)

製造業	12	46	9	7	2	6	33	23	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	15	0	0	157
建設業	36	13	8	10	5	5	14	12	1	0	1	1	1	0	0	0	8	0	1	1	0	117
道路貨物運送業	14	8	5	2	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	43
林業	1	1	0	6	0	11	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	28
小売業	8	30	5	3	2	3	2	6	0	0	2	0	0	0	0	0	5	0	10	0	0	76
社会福祉施設	2	30	3	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	11	5	0	63
全産業	102	178	45	33	13	47	78	53	1	0	12	4	1	1	0	0	36	0	63	8	0	675
	15.1%	26.4%	6.7%	4.9%	1.9%	7.0%	11.6%	7.9%	0.1%	0.0%	1.8%	0.6%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	9.3%	1.2%	0.0%	100.0%

<差分>

製造業	0	6	3	-2	0	0	10	-7	0	0	4	3	0	-1	0	0	2	0	0	1	0	19
建設業	8	8	-1	-2	-3	0	-5	-1	-1	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	0	7	0	0	7
道路貨物運送業	4	8	-1	1	-1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	-2	0	0	19
林業	0	2	0	-1	1	-4	-3	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-7
小売業	-5	19	-1	-2	-2	-3	5	-2	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
社会福祉施設	1	-3	0	0	0	-3	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-3	0	6	0	0	-2
全産業	4	89	-3	-2	-6	-9	4	-9	-1	0	-2	1	-1	-1	0	0	8	0	14	3	0	89